TE10

305455

□要

□明

TE10□胞株は、日本で樹立された食道がんモデル群である TEシリーズの一部であり、具体的には高分化型食道扁平上皮がんから樹立されたものである。 TE10□胞は、その上皮様形態と単層培養下での増殖特性で知られています。これらの□胞は、放射線照射歴のない原発病変から樹立されたものであり、未治療の腫瘍の生物学的特性を代表するものです。

TE10は、食道がんの進行に関連するいくつかの重要な遺伝的変異を示しています。これらには、c-erbB遺伝子の増幅および過剰発現、int-2およびhst-1プロオントジーンの共増幅、ならびにTGF-αやEGF-Rなどの成長因子の調節異常が含まれます。 これらの分子的特徴により、TE10は上皮成長因子受容体（EGFR）シグナル伝達軸など、腫瘍増殖に関与する経路を解明するための貴重なモデルとなっている。さらに、この □胞株は標的療法や化学療法剤に対する反応を研究するために用いられており、薬剤耐性のメカニズム解明に寄与している。

また、TE10□胞は、軟寒天中でコロニーを形成し、付着非依存性増殖を示す能力があるため、浸潤および遊走アッセイでも頻繁に用いられている。これらの特性は、転移の分子的駆動因子を解明する上での有用性を際立たせている。 腫瘍生物学や薬理学に焦点を当てた実験において、この□胞株が一貫した性能を発揮することから、トランスレーショナルがん研究、特に食道扁平上皮癌を対象とした治療戦略の開発において重要なツールとなっている。

ティッシュ	食道
病気	扁平上皮癌

同義語

- TE-10

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様
細胞の種類	上皮□胞
倍増時間	30時間

識別子

引用

TE10（Cytion カタログ番号 305455）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_1760

発現と感受性

アイソザイム

LD ˊ NP

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

変異プロファイル

変異：TP53、単純型、p.Cys242Tyr (c.725G>A)、未特定

取り扱いと飼育

培地

RPMI 1640 ´ 2.1 mM 安定化グルタミン、2.0 g/L NaHCO3 培地（Cytion 820700a）

培養雰囲気	37℃ ´ 5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ
流体の更新	週1～2回

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	58年
民族	日本語

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB